

未来に繋がるモノを創る！
生コンクリートの品質・信頼性の向上を目指します

徳島県生コンクリート工業組合



徳島県生コンクリート工業組合は、生コンクリート製造事業者の皆さんをサポートするための様々な取り組みを行っています。

高度な技術と知識が要求される生コンクリート事業における技術指導や教育の実施、専門知識習得のためにコンクリート技師・主任技師の資格取得支援講座を開催しています。また最新の技術情報の提供もタイムリーに実施しています。

生コンクリート業界の次代を担う人材の育成にも力を入れ、業界の発展を目指した将来を見据えた活動を続けています。

《組合概要》

主たる業種 生コンクリートの生産事業

組合専従者数 2名

組合員数 53社（36工場）

組合員の資格

- ・地区内において生コンクリートの生産の事業を営むもの
- ・地区内において生コンクリートの生産の事業を行う事業協同組合、企業組合、協業組合

設立年月日 昭和48年11月21日

設立後の経過年数 49年

出資金 7,110万円

事業内容

- ① 生コンクリート製造業に関する指導及び教育の事業
 - ・購入者の視点に立った品質保証のレベル向上
 - ・品質管理監査を実施して、生コンクリートの品質及び信頼性の向上を図る
 - ・組合員工場の技術力向上に資する講習会等を実施する。
- ② 生コンクリート製造業に関する情報または資料の収集及び提供の事業
 - ・新技術の普及と公害防止及びリスクアセスメントに関する情報等の提供
 - ・コンクリート舗装の推進に関する情報の収集及び技術力課題を検討する



事務所外観

- ③ 生コンクリート製造業に関する調査研究
 - ・ 生コンクリートの需要拡大に向けての調査研究
 - ・ 生コンクリート工場における環境負荷の低減に関する調査研究
- ④ 組合員が製造する生コンクリートについての共同検査事業
 - ・ 品質管理監査会議が実施する監査への参加及び組員工場の監査の受審
 - ・ 監査合格工場を示す識別標識である[㊦]マークの組合員工場への普及推進
- ⑤ 組合員間の親睦事業



1. 組合等設立の背景と目的について

徳島県生コンクリート工業組合は、生コンクリートの製造販売を行う組合員の改善・発展を図るために設立された同業者組合です。当組合では徳島県内における生コンクリートの適正な品質を確保するために活動しています。生コンクリートの安定的な供給、適正価格の確保、環境への取り組みに取り組んできました。

生コンクリートは様々な建造物に使用されており、現在日本において建築・土木に使用されているコンクリートはほとんどが生コンクリートの形で使われています。生コンクリートの品質はそれを用いて建築される建造物の強度や耐久性に影響するため、JIS規格に基づいて製造・運搬・試験が行われています。生コンクリートは生ものであり、在庫保持ができないという製品特性があり、原材料の品質管理から製造工程及び製品納入まで特段の手配と管理、知識等が要求されます。

当組合では専門知識習得のために、コンクリート技士・主任技師の資格取得支援講座を開催し、コンクリート技師の養成に努めています。

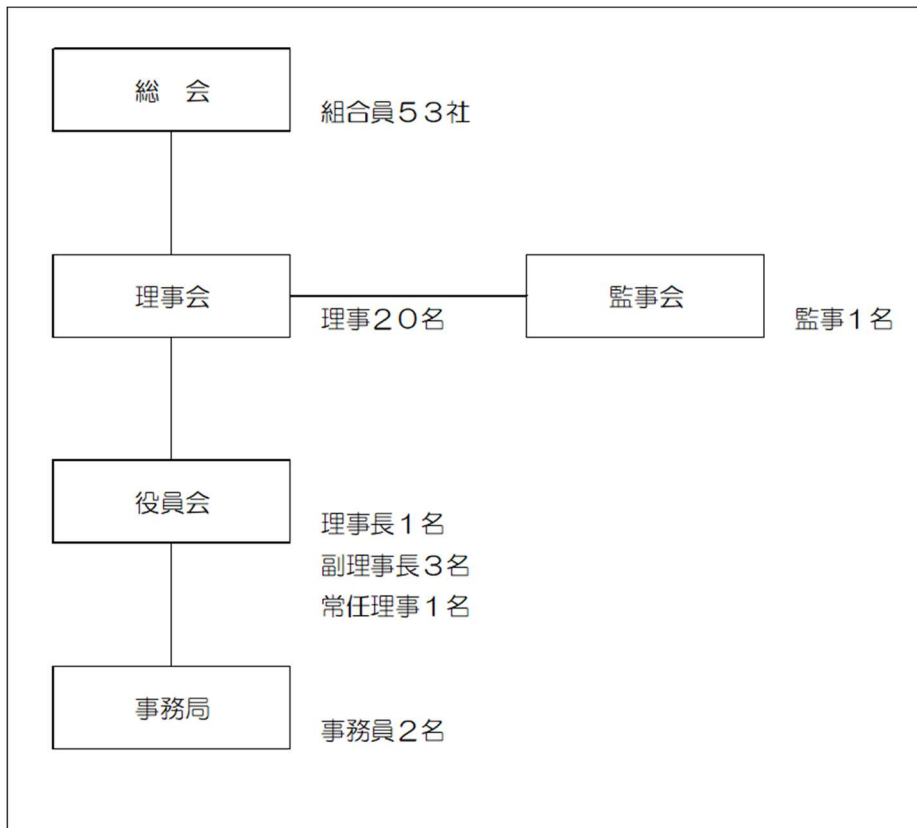


2. 組合の沿革

昭和48年11月	徳島県生コンクリート工業組合設立 事務所を徳島市新浜町にて業務開始
昭和58年3月	徳島市川内町に徳島県生コンセンター完成 事務所を移転
平成2年6月	徳島県生コンクリート工業組合 青年部設置
平成18年10月	徳島県木材認証機構設立
平成30年7月	徳島県と「コンクリートミキサー車を活用した消防用水の確保に関する協定」締結



3. 共同事業の実施体制（役割分担）について



4. 共同事業等の取り組み内容

(1) 組合員への指導教育活動

徳島県生コンクリート工業組合は、昭和48年に徳島県下の生コンクリート製造業者により設立され、49年の長きに亘って活動してきました。

人々の生活になくてはならない上下水道や電気・通信、交通網などのインフラの整備に必要な施設・設備の建造や建築に欠かせない重要な資材の一つが生コンクリートです。生コンクリートは文字通り「生もの」であり在庫保存ができないという製品特性があるため、品質管理から製造、納品に至るまで高度な技能や知識が要求されます。当組合ではコンクリート技師・主任技師を養成するための資格取得支援講座の開催や、外部有識者を招いて品質確保に関する講演会を開いて技術的な知見を深める取組みを行っています。また日本コンクリート工学会四国支部の「四国の生コン技術力活性化委員会」に参加することで技術面での人材育成も進めています。

(2) 次世代を担う人材確保に対する活動

生コンクリート業界の次世代を担う人材の確保が喫緊のテーマです。「人材が確保できないと業界として継続していけない。」人手不足の解消が今取り組むべき最優先のテーマとの認識のもと、新卒採用を見据えて県内の工業系高校へ当組合の理事長、常任理事、青年部会長、事務局のメンバーで訪問し、学校長・就職担当課長と面談する中で意見交換、生コン業界のPRを行っています。

また働きやすい環境づくりにも注力しており、令和4年6月には組合内の新たな組織として新たに女性部を設置しました。現在8名が入部しており、組合員各工場に勤務する女性の連携や情報交換、働きやすい環境づくりなどに貢献し、次世代の女性活躍を目指しています。

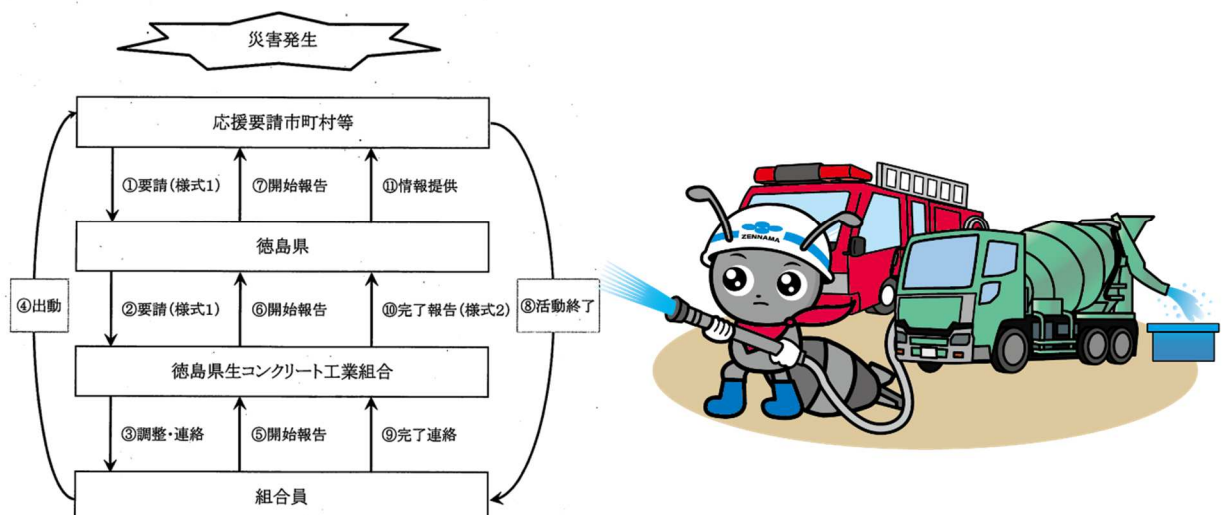
(3) 共同検査事業

当組合員が製造する生コンクリートについての共同検査事業を実施しています。「品質管理監査委員会」と「品質管理監査会議」をそれぞれ年2回開催し、また監査員研修会を実施して監査員の監査能力を高める取組みを行っています。そしてすべての組合員工場へ全国基準での監査基準表に準じた「品質管理工場立入り監査」を実施しており、監査結果については総括報告書にて公表しています。

(4) 災害時における消防用水の確保に関する協定

徳島県生コンクリート工業組合と徳島県は、大規模火災発生に備え、コンクリートミキサー車を活用した消防用水の確保に関する協定を結び、山火事および地震に際する大規模火災発生時には、組合員の保有するミキサー車で水を災害地まで運搬することで火災消火に協力することになっています。

災害時等における消防用水の確保に関する協定に基づく活動系統図





5. 社会貢献・地域貢献について

(1) コンクリート甲子園への支援活動

当組合は、業界の次世代を担う人材の確保を僅々のテーマと捉えており、県内の工業高校を訪問し生コン業界のPRと意見交換を図るとともに、毎年10月に全国規模で開催されている「コンクリート甲子園」の出場校に支援金を支給しています。その成果もあり、徳島科学技術高校は大会2連覇を達成しました。連覇を果たした徳島科学技術高校には表彰状とお祝い金を手渡しました。



徳島科学技術高校への表彰とお祝いの様子

(2) 青年部の交流活動

徳島県生コンクリート工業組合には青年部があります。次世代を担う若手経営者、将来の幹部社員等で組織し、会員の親睦と連携を深め、教育・研鑽を積み相互啓発に努め、優れた経営者、業界指導者の育成と資質の向上を図ることを目的としています。

青年部会長は令和2年5月から徳島県中小企業青年中央会の理事を務めています。徳島県中小企業青年中央会は、県内の業界団体の青年部によって組織されている異業種組織で業種や団体の枠を超えた交流・連携に取り組んでいます。組合青年部リーダー交流会議や四国ブロック会議、組合青年部全国講習会、チャリティゴルフコンペなどの各種交流会等の発案、企画に積極的に関わっています。



コンクリート品質確保に関する講習会



生コンクリート工場見学勉強会

(3) 地域住民との交流活動

例年7月下旬に開催される「吉野川フェスティバル」において「建設機械と遊ぼう！」というスローガンを掲げ、ミキサー車の展示や親子で参加できる「生コンクリート手形模型作成イベント」に参加を計画。(2022年度はコロナ禍により中止)



6. 組合設立・組織化の効果・メリットについて

徳島県生コンクリート工業組合の重点施策は以下の3項目です。

- ① 組合員への情報提供および教育活動の実施により製品の安定供給、品質の向上を図る。
- ② 品質管理監査制度の充実を図ることにより、発注者・購入者からの信頼性を確保する。
- ③ 組合員間の情報共有を密に行うことにより、品質改善・改良につなげる。

経営資源が限られている企業単独では難しい品質の向上や新技術情報が入手できるなど、個々の企業努力では困難な課題の解決に当組合は有効に機能しています。青年部や女性部などの組合内組織による連携により各組合員間の強い結びつきが生まれ、垣根のない情報交換や相互扶助の関係性が生まれています。



7. 今後の方向性について

徳島県生コンクリート工業組合は、組合員の新技術分野での情報共有と将来に向けた人材確保と育成、および安定した品質管理の徹底と技術革新を追求していきます。

重点課題の一つである生コン品質の向上については、全国統一品質管理監査を確実に遂行し、監査合格工場を示す識別標識である[㊦]マークの組合員工場への普及を推進します。

また技術向上を目指し、「四国の生コン技術力活性化委員会」で行っている研究「尿素等を混和剤として用いたコンクリートの諸性状」を進め、各種混和剤に関する実験でデータを収集し、JCIコンクリート工学年次大会で論文の投稿を計画しています。



8. 中央会を利用して良かった点

日頃から何でも相談に応じて頂き、色々お世話してもらえ事が助かっている。

- ・ 補助金事業の紹介活用方法
- ・ 組合定款に掛かる諸問題についても、解決策を提示して頂ける。
- ・ 講習において、講習内容・講師の紹介など非常に参考になっている。

今後においても、関わりを密にして相互の発展に尽力願いたい。



9. 中央会担当指導員のことば



吉川係長

徳島県生コンクリート工業組合は、理事長1名、副理事長3名のリーダーのもと、品質管理監査委員会などの各種委員会を設けて事業運営の強化を図っており、組合員の結束力も強く、組合運営が円滑に行われています。

また、特に注目すべきは、指導教育に関する事業に積極的に取り組み、様々なテーマで講習会や視察等を継続して開催していることです。これらの活動は、次世代を担う若手経営者の育成、資質の向上に寄与していると共に、組合全体の活性化につながっており、まさに他の組合の模範となるものだと思っています。

組合のPR

上下水道、電気・エネルギー網、通信網、交通網等のインフラ整備に必要な施設・設備の建造や建築に欠かせない資材の一つが「生コンクリート」です。

「未来につながるモノを創る」をスローガンに、高品質な生コンクリートの安定的な供給を通じてこれからも社会の持続的発展に貢献して参ります。

組合代表者(役職・氏名) 代表理事 山内 勝英

住所 徳島市川内町中島97番地1

URL <http://www.tkc.or.jp/kouso>

電話番号 088-665-2945

FAX番号 088-665-0490

